



郷土の埋もれた歴史 光を

観音寺市の中学校で講師を務める合田芳弘(ベンヌーム・ごうだよしひろ)さん(66)が、同市豊浜町出身で江戸時代中期の医学者の合田求吾(1723~73年)と幼なじみの親友で廻船問屋の藤村喜八郎を題材に執筆した小説「夢船」を出版した。さまざまな資料を読み解き、足跡をたどるなどして構想から3年がかりで完成。「観音寺の埋もれた歴史を掘り起こし、素晴らしい人物がいたことを紹介したい」としている。

求吾は町医者として古里の医療に尽くすとともに、長崎に遊学し、杉田玄白の「解体新書」より12年早く、西洋式の人体解剖図などをまとめた「紅毛医言」を著した。喜八郎は私財を投じて地元の和田浜港を改修し、交易の発展に寄与した。

「夢船」は、歴史が大好きな主人公の少女が江戸時代の豊浜にタイムスリップし、求吾をはじめ、さまざまな人と出会いながら成長

観音寺の合田さん 豊浜の偉人題材に小説

して自分の夢をかなえる物語。子どもにも読みやすいように平易な文体にし、小学4年生以上で習う漢字には振り仮名を付けた。

合田さんは中学校で社会科の教員を長く務めてきた経験から、子どもたちに郷土の歴史にもっと興味や関心を持つてほしいとの思いで執筆。「小説ではあるがノンフィクションの部分も含まれ、歴史を歪曲しないようにした。私利私欲ではなく地域の発展のために尽力した2人のことを多くの人に知ってほしい」と話している。

同市出身で直木賞作家の芦原すなおさんが「これは『歴史飛び込み小説』と呼びたい(後略)」と書評を寄せている。

A5判、231頁。価格

は1650円。発行元の美巧社(高松市多賀町)のほか、高橋弘文堂(観音寺市茂木町)、福田書店(同市大野原町)で取り扱っている。通販サイトのアマゾンでも購入できる。観音寺市内の小中高校、図書館などには寄贈した。

合田さんが代表を務める表現活動集団「玄」で、なんてこ舞い、「が」「夢船」を原作にしたミュージカルの公演「夢船」を21日にハイスタッフホール(同市観音寺町)で開催する(入場券はすでに完